

シマヘビ

Elaphe quadrivirgata

ナミヘビ科



シマヘビ

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チヨウ

樹木

(在来種)
草花

(外来種)
草花

哺乳類

(水辺)
鳥類

(草原・樹林)
ワシ・タカ

名前の由来

縞のあるヘビであることから。ヘビは「ヘミ」から転じた説があり、「ヘミ」は、食う・くわえるの意で「食む(ハム)」から転じた説や「延虫(ハヘムシ)」、「這虫(ハヒムシ)」から転じた説などがある。漢字名：縞蛇

形態的特徴

全長80~200cm。胴中央部の体鱗列は19列。一般的には藁色に4本の褐色の縦縞を持つものが普通だが、体色や色彩には変異が大きく、縦縞のないものや、色の異なるものもある。瞳は楕円形で光彩は赤いものが多い。全身が黒化したカラスヘビと呼ばれるものが有名。アオダイショウに似た体色のものなどもある。

類似種と見分け方：アオダイショウ、マムシ。

アオダイショウの胴中央部の体鱗列は23~25列で、光彩は褐色がかかることが多い。シマヘビの光彩は赤色。幼蛇では縦縞とならず、他の蛇と間違えられることもある。「マ

ムシの頭は三角形」というが、シマヘビも威嚇する時などは頭をふくらませるので紛らわしい。



シマヘビの黒色型(カラスヘビ) シマヘビの幼蛇。縦ジマがない

生息環境・分布

河原や草原などの開けた環境を好む。主に地上で活動している。冬期は地中で冬眠する。

分布：国外分布はなし。

国内分布は、日本全土に分布。

北海道内では、全域に分布。

十勝地方では、低地から高地の河原や草地などで見られる。

食性・他生物との関わり

カエルなどの両生類、爬虫類など。蛇食性もみられ、他のヘビを食べる事もある。

哺乳類や猛禽類などに捕食される。

繁殖生態・寿命

4~6月に交尾し、4~16卵を産む。

寿命は不明。

興味深い話

■気性は荒く、敏捷でよく噛みつく。威嚇するときは頭をふくらませ、尾を振るわせる。捕まえると総排泄口から悪臭を放つ。

■蛇食性という、他の種類の蛇を食べる行動がみられる。

■繁殖期にはオス同士が縄をなう様な行動(コンバットと呼ばれる行動のうちのひとつ)がみられる事もある。

■十勝地方のアイヌ語では、ヘビ類一般が「シリカウカムイ」「タンネカムイ」と呼ばれる。

配慮事項

生息地としての草むらや藪、石の隙間などが必要である他、餌資源となるカエルやネズミ類などが必要である。

生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出現期					■	■	■	■	■	■		
冬眠期	■	■	■	■							■	■
繁殖期				■	■	■	■					

参考文献

「日本動物大百科 両生類・爬虫類・軟骨魚類」日高敏隆監修 平凡社 1996

「決定版日本の両生爬虫類」内山りゅう・前田憲男・沼田研児・関慎太郎 平凡社 2002

「アイヌ語で自然かんさつ図鑑」帯広百年記念館編集、内田祐一・池田亨嘉、帯広百年記念館友の会 2004

「日本辞典」のウェブページ

<http://www.nihonjiten.com/data/46572.html>